

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年9月29日

事業所名 ステップきっず

チェック項目		はい	はい (△)	いいえ	わから ない	無記入	工夫している点課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12		1			<ul style="list-style-type: none"> ・児が上限の預り人数だと手狭に感じる ・コロナ禍では定員5名を同室で預かることが困難なため、「いいえ」を選んだが、物の位置を決めるなどして、できる限り広く使えるよう心がけている。 ・ウォーカーで歩けるスペースがあればいいと思う。 ・個人がくつろげる空間と皆で活動できる空間が別にあるとさらに良いと思う。 	スペースと利用定員の関係は、規定通りで適切ですが、感染予防のため引き続き活動室内を4名定員とし、適宜別室を利用していきます。
	② 職員の配置数は適切である	13					<ul style="list-style-type: none"> ・配置は問題ないと思うが子どもの急なお休みに対してスタッフが余ってしまうことがあり、そういった時にできる業務があるとよいと思う 	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	7			<ul style="list-style-type: none"> ・1階に部屋を配置できたら良いと考えています。 ・階段での移動あり 危険のないよう対応はしている ・2階であることのデメリットは大きいと考えます。 ・1階であると尚良い ・2階への移動が必要なためバリアフリーと言えないが、できるだけ安全にできるような布たんか等を使用している。 ・内階段が夏は暑く、冬は寒い。 ・階段を子どもを抱いて昇降は危険だし、とても神経を使う。医療機器を移動させるのも心配。 ・2階であるので、不都合であることが多い。 	入室時必ず階段を使用する必要があるため、児の身体の大きさや特性に合わせて職員の配置などを工夫しています。移動時に危ないと感じるときには、必ず2名体制にし、サポートできるようにしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13					<ul style="list-style-type: none"> ・冬寒い事がある ・毎日清潔にし、感染予防もやっている ・だいたい片付いているがたまにオモチャが散乱していたり座位保持椅子が避難経路に置いてあることがある。注意が必要。 	毎月のミーティングで危険箇所をピックアップして改善するなど、環境の整備に努めています。
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	13					<ul style="list-style-type: none"> ・児の担当につく職員はしている 	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12			1			中途入職者に事業所評価を実施していること、実施目的を共有できていなかったため今回周知しました。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12				1		中途入職者に事業所評価を実施していること、実施目的を共有できていなかったため実際にホームページを確認してもらい周知しました。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		2	3	1		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13					<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行っている療育勉強会は情報共有や意見交換の場としても良い。 ・療育勉強会はとても充実していると思う。 	
適切 な 支 援 の 提 供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13						
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画から落とし込んだ月案（アセスメントツール）への記録は、目標が具体的でとてもわかりやすいとおもう。 	独自のアンケート用紙や月案報告書用紙を標準化ツールとして使用しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12				1		中途入職者に事業所評価を実施していること、実施目的を共有できていなかったため今回周知しました。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13						
⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	1					<ul style="list-style-type: none"> ・療育勉強会で話し合っている 		

	チェック項目	はい	はい (△)	いいえ	わから ない	無記入	工夫している点課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11		1		1	・計画作成に携わっていないがプログラムが固定化しないよう努力している ・療育勉強会で話し合っている ・もう一つ努力したいところです。 ・季節の行事等を取り入れている ・活動内容がマンネリ化しないようにしたいと考えるが、難しいところもある。絵本は図書館で借りるなどバリエーションが増えたらいいと思う。	お子さんそれぞれの特性上、プログラムを敢えて固定化して繰り返し行うことも必要と考えています。ただ、その中でも、提供の工夫をしながら丁寧に発達を促していければと考えています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12				1	・集団活動を組みこむのが難しい部分もあるが工夫しながら行えていると思う。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1	1			・出勤時間がバラバラでできていないのでは… ・時差出勤の職員もいるため、全員での実施は難しいが、その場合は前日に打ち合わせたり、LINEWORKSを利用したりしている。	正職員は随時共有していますが送迎や時短勤務によりミーティングに参加できないスタッフには、LINEワークスや申し送りノート、月案で共有しています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13						
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13						
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13						
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11				2		案内があったものについては、最低1名は参加していますので、継続します。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13						
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	13					・地域の保育園からの見学希望を積極的に受け入れている。	
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	13						
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13					・移行先の職員の見学受入、情報共有をしっかりと行っている。 ・移行前の準備はじっくり、しっかり時間をかけて行っている。	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13					・対象児の情報、当施設での様子をまとめて申し送ったり、見学に来ていただいたりしている。 ・依頼された書式以外に、独自の情報提供書を作成して視覚的に理解していただけるように工夫しています。	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12				1	・可能な範囲でしている ・他事業所と研修を行い合っている	中途入職者に事業所評価を実施していること、実施目的を共有できていなかったため今回周知しました。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	1	3			・コロナでできなかったが最近1度できた ・積極的に公園に行き交流をもとめている ・少しずつ小さく行っている ・公園などで交流。 ・コロナ禍であまりできていなかったが近隣の保育園へお散歩に行き園庭で遊ばせてもらったり、公園で保育園児と関わる時間を少しもつことができた。	感染予防のため大規模にはできておりませんが、小中学生に遊びのボランティアをお願いして来てもらうなど、小規模の交流を行っております。
	㉙ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10				3	・自立支援協議会児童部会に部会員として参加しており部会中心に行う連携会議など積極的に参加している。	案内があったものについては、最低1名は参加していますので、継続します。
	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13					・保護者との連絡が必要な児に対しては密に連絡を取っている	

チェック項目		はい	はい (△)	いいえ	わから ない	無記入	工夫している点課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③① 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	8		2	2	1	・必要に応じてアドバイスをを行っている ・プログラム？は無いが、日々、療育者からのかかわり方のポイントなどお伝えしている	保護者に対して家庭支援プログラムとして関わってはいませんが、児の入室時に楽しめた遊びや好きな絵本、光や音への反応や興味がどうだったかなどを伝えることで家族と共有できるようにしています。
	③② 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12				1		
	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13						
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1	1				
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13					・3～4か月に1度「ママの会」を実施している。 ・ママ会を計画し、実施しているが毎回参加人数が少ない。日時や場所の検討が必要なかもしれない。 ・年に数回、保育参加を実施し保護者同士が共有できる時間を取っている。	送迎有りの母子分離の通園で、保護者同士が交わる機会が少ないのでママ会を実施しています。部屋の都合で木曜日の開催になっておりますが、来年度は他曜日も検討して参りたいと思います。 合わせて「父の会」の開催も検討し、交流いただける機会を作りたいと思います。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13						
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13					・毎月必ず発行している	
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	12	1				・書類などの取り扱いが雑な部分があった	個人情報、プライバシー情報については十分に留意しマニュアル化もしているが人為的ミス発生してしまうため、再度マニュアルの見直しを行いました。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13						
	③⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		6	1		・コロナ対策のため ・コロナの影響で実施できず。	
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13					・看護師主催の勉強会を定期的におこなっている。	
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13					・毎月実施している。	月に1回の避難訓練を継続して参ります。 適宜保護者の方にも参加していただきながら利用時の災害用伝言ダイヤルの試用訓練も実施します。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13						
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13						
④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13							
④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13							
④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12				1	・該当する児がいない？	基本的に身体拘束はありませんが、階段移動時などの安全上必要時は、保護者へ説明し、了承を得た上で行っています。 職員にも周知して参ります。	

チェック項目	はい	はい (△)	いいえ	わから ない	無記入	工夫している点課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--------	----	-----------	-----	-----------	-----	--------------------	------------------------------

○その他お気づきの点やご意見ご要望がございましたら何でも結構ですご記入ください

<p>コロナで難しかったですが、もっとお友達とふれ合い遊ぶ機会があったら良いと思います。 水遊びやお散歩はお家ではなかなかできていないお子さんがいるので積極的にしてあげてほしいです。 危険がない程度の身体を動かす遊びがあっても良いと思います。</p>							
<p>一人一人に、深く考えかかわれていて素敵だなと思います。 訪問療育もしてもらえたら、自宅から移動が困難なお子様にとって、成長できる時間が増えてよいかと思います。</p>							
<p>子ども1人1人をスタッフみんなで見守り、育てていっているなど感じています 緊張感のある職場ですが頑張っていきたい</p>							
<p>子どもたちの表情、目の輝き、呼吸、心拍数など、ほんのわずかな表情も、子供達にとっては大きなアプローチ ステップきつずは、ここをとても大切に、子どもと関わっている。</p>							
<p>毎月の療育勉強会は回を重ねるごとにバージョンアップしてきていると思う。 スタッフ皆が子どもに対して大切に育んでいこうと思っている気持ちがとても伝わる。 子ども一人一人に対して深く考えられているし、それを共有して皆で同じ方向へ進んでいくための努力もしている。 他施設のことはよくわからないが、ステップきつずは療育に力を入れ、子どもたちに真摯に向き合っている施設だと胸を張って言えると思う。</p>							
<p>⑧⑩⑳～㉟ 自分自身が知識としてまだ知らない。 まだ現場(療育)に関することを学ばせていただいでいて、それ以外のことを把握するに至っておりません。 少しずつ指導計画沿って教えていただければと思います。</p>							

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。